



クララ・シューマン生誕200年に寄せて

Zu Clara Schumanns 200. Geburtstag

第3回 上野の森オルガンシリーズ2019

「オルガンが奏でる愛と告別の調べ」

— クララとローベルト、ブラームスらの書簡と共に —

シューマン夫妻、友人たちの愛と告別がオルガン演奏を通して綴られる。
ローベルトに対位法を学んだクララは、ピアノでは表せないオルガンのタッチと響きを好み、
1845年、夫と共にオルガン曲を生み出す。
ブラームスは敬愛する2人との告別に、美しいオルガン曲で哀悼の気持ちを表した。



シューマン夫妻 1850年3月

2019年10月20日(日)

開演 15:00 (開場 14:15 プレトーク 14:30~小澤 和子)

東京藝術大学奏楽堂(大学構内) 入場料 2,000円[全席自由]

【曲目】

C.シューマン(1819~1896):《3つ前奏曲とフーガ》より

R.シューマン(1810~1856):《ペダル・フリーゲルのための4つのスケッチ》より

《ペダル・フリーゲルのためのカノン形式のエチュード》より

《バッハの名による6つのフーガ》より

オラトリオ《楽園とペーリ》より

Th.キルヒナー(1823~1903):《オルガンのための作品》より

J.ブラームス(1833~1897):《フーガ》変イ短調

《前奏曲とフーガ》ト短調

《4つの厳粛な歌》より

《11のコラール前奏曲》より ほか

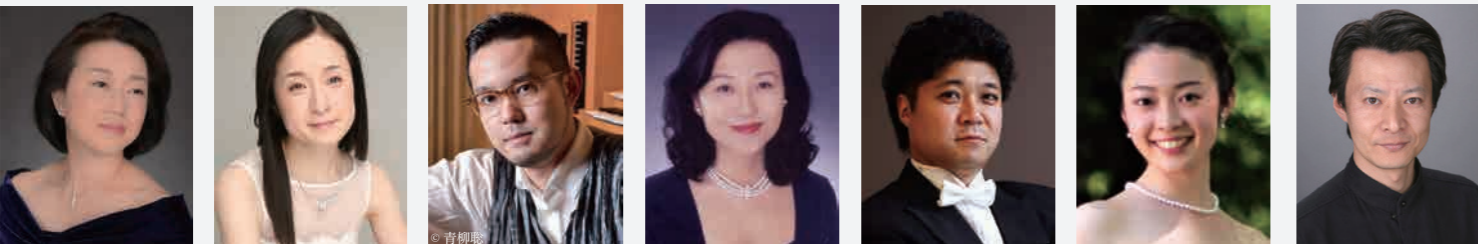


ブラームス
(シューマン夫妻と出会った頃)



キルヒナー
(リュベック・ブラームス研究所蔵)

※当日は書簡・日記の朗読を交えてほぼ年代順に演奏されます



オルガン 廣江 理枝 オルガン 徳岡 めぐみ オルガン 近藤 岳 ソプラノ 平松 英子 バリトン 萩原 潤 朗読 川中子 みより 朗読 瀬戸口 郁

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

東京藝術大学奏楽堂・第6ホール

※関連併催「レクチャー&ゼミナール」の会場については当日貼り紙でご案内します。

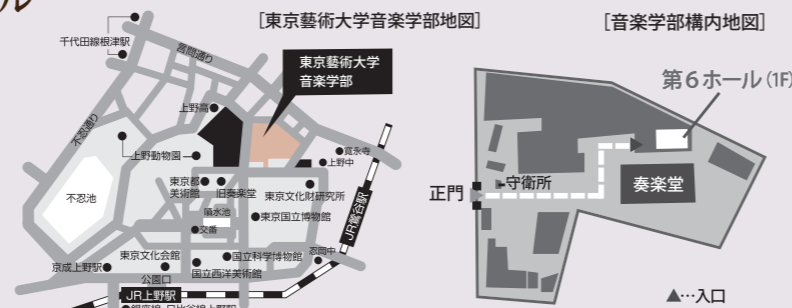
〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

■JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、
東京メトロ千代田線根津駅より 徒歩 10分

■東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅、
京成線京成上野駅より 徒歩 15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



デザイン: 上野綾夏(演奏芸術センター教育研究助手)

それは
クララから
はじまった

GEIDAI PROJECT 2019 CLARA SCHUMANN



第1回 東京藝大シンフォニーオーケストラ演奏会

「神童クララのピアノ協奏曲」

10月10日(木)開演19:00(開場18:15 プレトーク18:30~) 入場料 2,000円[全席自由] 東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

第2回 レクチャー&コンサート

「ある『家族の絵』—クララとローベルトの合唱曲を中心に」

10月12日(土)開演13:30(開場13:00) 入場無料 (当日先着50名。およびAセット券購入者) 東京藝術大学第6ホール

第3回 上野の森オルガンシリーズ2019

「オルガンが奏でる愛と告別の調べ—クララとローベルト、ブラームスらの書簡と共に」

10月20日(日)開演15:00(開場14:15 プレトーク14:30~) 入場料 2,000円[全席自由] 東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

Aセット券 3,000円(第1回と第3回+第2回入場整理券つき)※限定100セット

Bセット券 3,000円(第1回と第3回のみ)

※Aセット券(限定100セット)、Bセット券(制限なし)の販売はヴォートル・チケットセンター(電話のみ)と藝大アートプラザ(店頭販売)の2か所のみ
(単券は通常どおり、すべてのチケットセンターでのお取り扱いです)

※2回目の入場整理券は、当日音楽学部正門守衛所前にて13:00より配布(先着50名様)

[チケット取り扱い]8月7日(水)発売開始

◆ヴォートル・チケットセンター TEL:03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>

◆チケットぴあ TEL:0570-02-9999 <https://t.pia.jp> 《Pコード:159-926》

◆藝大アートプラザ(店頭販売のみ) TEL:050-5525-2102

◆東京文化会館チケットサービス TEL:03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/tickets/>

◆イープラス(e+) <https://eplus.jp>

[お問い合わせ]

東京藝術大学演奏芸術センター TEL:050-5525-2300

東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>

[主催]

東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部

第1回 東京藝大シンフォニーオーケストラ演奏会

「神童クララのピアノ協奏曲」

9歳でデビューした神童クララが17歳の年に完成した《ピアノ協奏曲》op.7を、わが国を代表する「シューマン弾き」伊藤恵が演奏。第3楽章はローベルトとの初の共同作業の結晶である。

2019年10月10日(木)

開演 19:00 (開場 18:15 プレトーク 18:30~小澤 和子)

東京藝術大学演奏堂(大学構内) 入場料 2,000円[全席自由]

【曲目】

ヨーゼフ・ヨーアヒム

《ハムレット序曲》op.4

クララ・ヴィーク

《ピアノ協奏曲》イ短調 op.7

ヨハネス・ブラームス

《交響曲第1番》ハ短調 op.68

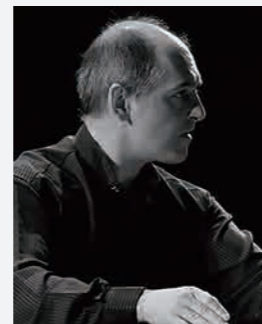


管弦楽

東京藝大シンフォニーオーケストラ



《ピアノ協奏曲》の譜面を前にした1835年のクララ・ヴィーク



指揮
ジョルト・ナジ



ピアノ
伊藤 恵

*スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。



企画・プレトーク・レクチャー

小澤 和子 Kazuko Ozawa 音楽学:シューマン研究

静岡県三島市生まれ。1977年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。1979年東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程音楽学専攻修了後、DAAD奨学生として渡独。1985年『ローベルト・シューマンのアーデルベルト・フォン・シャミッソーによる歌曲集のための資料研究』によりボン大学で博士号取得。1993~2004年シューマン研究所助手。2004~2005年ライプツィヒ大学非常勤研究員。2006年以来、フリーで研究活動。これまでに『新シューマン全集』"Liederband 6"をMatthias Wendtと、同"Studien-Skizzenbuch III"をMatthias Wendtと共同校訂。『シューマン歌曲集』ヘンレ版を6作品校訂。『巨匠と弟子 そして巨匠クララ・シューマンとイローナ・アイベンシュッツ Die Schülerin und die Meisterin. Clara Schumann und Ilona Eibenschütz』をMatthias Wendtと共著。『Merkwürdige Zeiten: Bemerkungen zu Schumanns Neugier』をはじめ、論文多数。東京藝術大学音楽学部特別招聘教授。



企画・レクチャー

マティアス・ヴェント Matthias Wendt 音楽学:シューマン研究

1951年ドイツのヴッパータール市生まれ。1982年ボン大学で『カール・ハインリッヒとヨハン・ゴットリーブ・グラウン兄弟のトリオ・ソナタ』により博士号取得。これに続きドイツ研究振興協会(DFG)による初期シューマンのスケッチ帳調査の最初の研究員。1985~1991年、ゲッティンゲンのヨハン・セバスティアン・バッハ研究所の研究員。『新バッハ全集』の多くのカンタータを校訂。1991年からデュッセルドルフのシューマン研究所で『新シューマン全集』の研究員となる。2010年に公式の編集主幹、研究所長となる。研究の主要なジャンルは交響曲、ドイツ・リートそしてスケッチ研究。『新シューマン全集』では自身の校訂の巻だけではなく、外部校訂者による原稿の補足や校正も行い、校訂方針の改訂を行う。また2011年に『シューマン書簡全集』のプロジェクトと一緒にシューマン書簡のデータ・バンクをワーク・イン・プログレスとして設置、音楽家の書簡としては世界で最も大きい約2万のデータが把握されている。2016年に退職。『巨匠と弟子 そして巨匠クララ・シューマンとイローナ・アイベンシュッツ』を小澤和子と共著。論文多数。東京藝術大学音楽学部特別招聘教授。

第2回 レクチャー&コンサート

「ある『家族の絵』——クララとローベルトの合唱曲を中心に」

父との相克、結婚への道のり——クララとローベルトの家族や創作を通して2人の芸術的関係に迫る。重唱・合唱曲を中心に、演奏機会の稀な隠れた名曲など、音楽とレクチャーで描く「家族の肖像」。

2019年10月12日(土) 開演 13:30(開場 13:00)

東京藝術大学音楽学部第6ホール

入場無料 (当日先着50名。およびAセット券をご購入いただいた方)

レクチャー マティアス・ヴェント レクチャーと通訳 小澤 和子

【曲目】 J. G. トロムリッツ: フラウト・トラヴェルソのための《パルティータ第6番》より

C. シューマン: ピアノ独奏のための《行進曲》変ホ長調

ソプラノのための《彼がやってきた、嵐と雨の中を》

無伴奏混声合唱《前進》

無伴奏混声合唱《ヴェネツィアの夕べの祈り》

R. シューマン: 混声四部合唱《流浪の民》

混声四部合唱《農民の合唱》日本初演

二重唱《家族の絵》二重唱《私はあなたの樹》

オラトリオ《楽園とペーリ》(Pf伴奏版)より

女声合唱《小さな礼拝堂》(Org伴奏)

無伴奏男声合唱《武器をとれ》

モテット《苦痛の谷で絶望することなかれ》より

ブラームス: ソプラノのための《わたしの恋は灌木ライラックのように緑》ほか ※当日はレクチャーに沿って演奏されます。



指揮
谷本 喜基



ソプラノ
金持 亜実



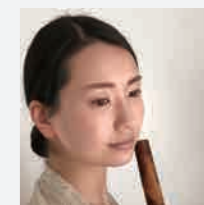
テノール
寺島 弘城



ピアノ
東浦 亜希子



オルガン
長田 真実



フラウト・トラヴェルソ
武澤 泰子

合唱: 東京藝術大学シューマン・コーア

Vn: 宮下 絢子 堀 真亜菜 Va: 桂田 光理 Vc: 安保有乃 Cb: 岡本文音 Cl: 島谷 万寿実

*スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

関連併催「レクチャー&ゼミナール」

第1回 「クララのピアノ協奏曲の時代のオーケストラとオーケストレーション——シューマンのオーケストレーションとの闘い」

2019年10月8日(火) 開演 18:30(開場 18:00) 東京藝術大学音楽学部 5-109 入場料: 無料(先着200名)

講師: マティアス・ヴェント 通訳: 小澤 和子

第2回 「シューマン夫妻のリートにおけるエディションの諸問題」

2019年10月15日(火) 開演 18:30(開場 18:00) 東京藝術大学音楽学部 第1ホール 入場料: 無料(先着100名)

講師: マティアス・ヴェント 小澤 和子 ソプラノ: 金持 亜実 ピアノ: 東浦 亜希子

第3回 「教育者としてのクララ: 神童の育成 イローナ・アイベンシュッツを例に」

2019年10月17日(木) 開演 19:00(開場 18:30) 東京藝術大学音楽学部 第1ホール 入場料: 無料(先着100名)

講師: 小澤 和子 ピアノ: 鐵 百合奈

主催・お問合せ 東京藝術大学音楽学部楽理科

楽理科ホームページ <http://musicology.geidai.ac.jp/wp/> メール geidaigakuri@gmail.com

電話 050-5525-2350(学期期間中平日: 9:00~17:50 8月・9月は不定期)